

会議報告書

会議名	令和6年度 第4回三郷市介護保険運営協議会
日 時	令和7年2月7日(金) 午後1時30分から午後2時30分
場 所	三郷市役所 本庁舎 農業員会議室
出席者 (20名)	【会 長】 谷口 聡 【副会長】 今澤 正夫 【委 員】 近藤 由紀子、佐久間 史晃、秋葉 明、齋藤 義治、須本 晃夫 7名 【事務局】 益子 敏幸(いきいき健康部長) 原山 千恵(いきいき健康部理事兼副部長) 中村 一之(介護保険課長) 平山 陽子(介護保険課長補佐) 石綿 英治(介護保険課主幹兼介護給付係長) 流 智子(介護保険課介護認定係長) 山根 花枝(介護保険課介護給付係主査) 木嶋 侑樹(介護保険課介護給付係主任) 森 里美(介護保険課介護給付係主任) 茂木 光司(長寿いきがい課長) 岡田 美奈子(長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長) 斉藤 嗣幸(長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長) 大杉 吉正(長寿いきがい課長寿いきがい係主査) 13名
傍聴人	なし
次 第	1 開会 2 会長あいさつ 3 部長挨拶 4 議題 (1) 基準条例改正(案)について (2) 令和6年度介護保険特別会計補正予算(第2号)(案)について (3) 令和7年度介護保険特別会計予算(案)について (4) 地域密着型サービス事業所の指定について (5) その他 3 事務連絡 4 閉会
資 料	資料1 条例改正に関する資料

資料 2	補正予算案の概要
資料 3	令和 7 年度予算案の概要
参考資料 1	事業計画から抜粋した円グラフ資料
資料 4－1	地域密着型サービス事業所の指定申請書
資料 4－2	地域密着型サービス事業所平面図
資料 5－1	認定率一覧
資料 5－2	訪問看護の計画と実績グラフ
資料 5－3	通所介護（要支援）の計画と実績グラフ
その他	要支援・要介護認定者数 介護の入門的研修&おしごと相談会の実施状況

【会議要旨】

1 開会

- ・司会者（中村課長）が開会を宣言

2 会長あいさつ

3 部長あいさつ

4 議事

（1）基準条例改正（案）について

谷口会長 議題 1 基準条例改正（案）について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【資料 1】に基づき説明）

谷口会長 事務局の説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。

（意見・質問なし）

谷口会長 なければ質疑を終了いたします。この件について了承することにご異議はありませんか。

委員 異議なし

谷口会長 異議なしと認め、了承いたします。

（2）令和 6 年度介護保険特別会計補正予算（第 2 号）（案）について

谷口会長 続きまして、議題 2 令和 6 年度介護保険特別会計補正予算（第 2 号）（案）について事務局の説明をお願いします。

事務局 （【資料 2】に基づき説明）

谷口会長 事務局の説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。

（意見・質問なし）

谷口会長 なければ質疑を終了いたします。この件について了承することにご異議はありませんか。

委員 異議なし

谷口会長 異議なしと認め、了承いたします。

(3) 令和7年度介護保険特別会計予算(案)について

谷口会長 続きまして、議題3 令和7年度介護保険特別会計予算(案)について事務局の説明をお願いします。

事務局 (【資料3】【参考資料1】に基づき説明)

谷口会長 事務局の説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。

齋藤委員 歳入の繰入金について、一般会計から繰入となっています。これにつきまして、他市町村と比べて多いのか平均なのか、あるいは少ない方なのか。また、今後は、高齢者が増えていくにあたって、適当な数字になるかどうかについて教えてください。

事務局 一般会計からの繰入金については、【参考資料1】にあるとおり、上の二つのグラフが居宅給付費及び施設等給付費の負担割合でいずれも市の負担が12.5%となっています。

下の地域支援事業については、総合事業については同じく12.5%で右側の包括的支援事業と任意事業については19.25%と負担割合は決まっております。他の市町村も負担割合は同じでございまして、他市町村に比べて多いか少ないかは、歳出の保険給付費や地域支援事業費によって変わってくるので、一概には言えないと思っております。歳出は計画に沿ってたてています。

谷口会長 はい、他にございますか。

近藤委員 今回、シルバー元気塾が介護予防事業に含まれたということですが、他にどのような介護予防事業をなされているのか、またそれに対してどのような成果が出ているのか、教えていただければと思います。

事務局 近藤委員からお話がありまして、介護予防事業ということで、シルバー元気塾の一般の方、60歳以上の方を中心に筋肉を鍛えて、介護予防の部分に役立てていただこうということで、移行しています。

それ以外に行っているのは、元気塾のゆうゆうコースを、市内6ヶ所、内訳は老人福祉センター3ヶ所、希望の郷交流センター1ヶ所、あと2ヶ所は文化会館とみさと団地の中央集会所で行っております。こちらは元気塾の少しやさしい版ということで椅子を使ったりして、元気塾ほどハードなトレーニングにならないようにやっています。その他には歯科医師会をはじめ、複合型の介護予防事業ということで、各種の団体の方に来ていただいて、介護予防講座やイベントを行っております。

他には、口腔機能の向上事業ということで今年度始めたものですが、歯科医師会のご協力のもと行っているものです。これは、75歳になったときに埼玉県後期高齢者医療広域連合から、歯科検診の無料券が届きます。歯科検診を受診された方のうち、口腔フレイルが少し心配な方について、広域連合から我々の方にフィードバックされますので、その方たちに対して歯科衛生士にご自宅に伺ってもらい、歯磨きや口腔の顔の体操を行っていただいております。

あとは、介護予防事業では地区サロンが市内 31 カ所ございまして、地域の方が中心になって近隣のお年寄りに集まってもらい、お茶飲み話の少し延長のような形で、理学療法士による転倒予防講座を行っています。参加している方たちが、外出の機会を得る社会交流、社会的に皆さんと交流していただくというところではかなり良い効果が出ているのではないかと思います。

また元気塾については、介護予防関係の研究を埼玉県立大にさせていただいておりますので、効果が公表できるときも来るのではないかと考えております。

近藤委員 ありがとうございます。もう少しよろしいでしょうか。

谷口会長 はい。どうぞ。

近藤委員 今回、第1号被保険者代表という形で、こちらに参加させていただいていますが、認定者が多くなって給付が多くなるということは、介護保険料がますます高くなっていくということだと思います。

年金から保険料を天引きされているので保険料が上がっていくと、やはり手元に残るお金がだんだん少なくなります。そういう点で介護予防を皆さんに頑張っていたいて、給付を減らしていただければと思うところです。

私の方の知り合いの中にも、やはり在宅で介護するっていうのは本当に大変なことだと聞いております。車椅子を家族が押していて、もう何度か階段から突き落としたいという気持ちがあったよというお話とか、自宅で寝たきり状態の旦那さんを介護していらっしゃるのですけども、その方も、もしお家が火事になったときに旦那さんを連れて逃げては行かれない。二人でここで死ぬしかないねというようなお話もあったりして、身につまされる思いです。介護になるってことは本当に家族も大変な思いをしています。健康で長生きできる状態を作っていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

谷口会長 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

秋葉委員 今、近藤委員から給付が増えると保険料が上がるというところは確かにあると思います。実は級地（地域区分）というものがございまして、三郷市は6級地です。

おそらく級地が低いことで保険料は低いほうだと思いますが、事業所に払われる費用、国から入る金額も低くなってしまっているという状況があります。

実は三郷市内の事業所が3月末で訪問入浴が一箇所閉鎖になります。

三郷市内には訪問入浴は二箇所しかないのですが、一箇所閉鎖になる、ヘルパー事業所は、一箇所中央地区で閉鎖になると聞いています。

なおかつ地域密着のデイサービス、第5圏域ですが、そちらのデイサービスも閉鎖になります。訪問入浴の事業所さんに聞いたところ、いろいろな事情があるが、募集しても人が集まらなと、人を集められなくてなかなか事業を回せないというようなことを話されていました。保険料が高くなることは皆さん大変だとは思っているのですけれども、そこで事業所が三郷市から撤退していくというような状況がだんだん起きています。

事業所としては5級地に上がれば収入もかなり変わるらしいです。

八潮市や草加市など近隣の市町村は、前回の介護保険料の改正のときに、6級地から、5級地に上げております。

三郷の事業所が撤退していくと、空洞化というか事業所は三郷になく、近隣の事業所から来てもらう状況がもう実際に起きています。

戸ヶ崎の方は、都内から訪問入浴の事業所さんに来てもらいお願いするという状況になり、東京の方が級地は高いので高い料金になります。利用者さんも結局負担が増えていきます。

保険料が上がるのは確かに嫌けれども、適正なサービスが受けられないような状況がもう今出てきているのかと、ケアマネとしては集まるとそういう話をしているので危機感が強いです。

人材を集められないっていうのは、介護業界どこもそうですけれども、特に三郷は流山や東京の方に、給料が高いので行ってしまうという現状があるので、心に留めておいていただければと思います。

谷口会長 他にご意見のあるかたはいらっしゃいますか。

佐久間委員 まず歳出の3款、地域支援事業費が前年度比5.9%増で、うち2項の一般介護予防事業費が17%増額になっていることについてはありがとうございます。

私はやはりフレイル予防のところは、特に注力しなくてはいけないところだと感じています。

私が事業所を開設したのが2017年で、その時には大介護時代が2030年に来ると言われていましたが、今、2035年と言われていると認識しています。おそらく、それがフレイル予防への取り組みに繋がってきていると感じているのと同時に、後回しになってきているのではないかと感じています。

75歳以上の方々が2025年問題で、大幅に増える時代に、やはりアクティブに動いて、活動的に生活ができる75歳80歳の方々が今世の中に必要なのではないかと思います。

秋葉委員の言葉をお借りしてお伝えするのであれば、三郷市で働く理由はなにか。私どものような介護事業者というのは、50%、人が理由で辞めていきます。人と人との繋がり、地域との繋がり三郷市の仲間との繋がりをより一層やっていかなければいけない。フレイル予防と並行して、業者に向けて、私達のその交流の場というところを、予算の地域支援事業費の方からさらに意識していただきたいと思いましたので、意見とさせていただきます。

谷口会長 他にご意見のあるかたはいらっしゃいますか。なければ質疑を終了いたします。
この件について了承することにご異議はありませんか。

委員 異議なし

谷口会長 異議なしと認め、了承いたします。

(4) 地域密着型サービス事業所の指定について

谷口会長 続きまして議題4の地域密着型サービス事業所の指定について、事務局の説明をお願いします。

事務局 (【資料4-1】【資料4-2】に基づき説明)

谷口会長 事務局の説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。

秋葉委員 確か特養が開所されたときに一緒に併設されて、もうすこし早く開設されるのかとも思ったのですが、そこの部分は順調に進んでいるのか、それとも人手不足などが原因でなかなか進まなかったのか、その辺はどうですか。

事務局 おっしゃる通り、特養が8月に開設し、そちらの方は工事の関係で、遅れたようなお話は伺いましたが、元々、同時ということではなく、スペースをいずれ、小規模多機能で使いたいというお話でしたので、それについては予定通りでございます。

秋葉委員 また、小規模多機能は泊まりの機能があり、利用者はいつでも泊まれると思っていたのに、人手不足で平日はあまり使えない、週末しか使えないとなると不便とされます。事業所によって違うのですが、利用者が使いやすいような状況を作って運営していただければと思っています。

谷口会長 他にご意見のある方はいらっしゃいますか。なければ質疑を終了いたします。
この件について了承することにご異議はありませんか。

委員 異議なし

谷口会長 異議なしと認め、了承いたします。

(5) その他

谷口会長 続きまして議題 5 のその他について、事務局から何かありますか。

事務局 (【資料 5-1】【資料 5-2】【資料 5-3】に基づき説明)

谷口会長 説明に関してご質問等はございますか。

秋葉委員 前回の会議に出ていた訪問看護の件について、ケアマネ協議会で話をしたところ、コロナ禍だったので訪問看護に入ってもらって、訪問リハビリで対応していたのではないかと。外に行くよりは、看護師さんにリハビリに来ていただいて、家で見てもらった方がいいということが増えたのではないかと、正解かどうかはわからないが、そういう意見が出たのでお伝えします。

谷口会長 他にご意見のある委員さんはいらっしゃいますか。

佐久間委員 資料の 5-1 の裏面について、調整済み認定率が三郷は県内でもトップであるというお話でしたが、この数字は、過疎化する地域に行けば、数字が下がって、都内に行けば数字が上がるというものですか。

事務局 必ずしもそういうわけではなく、三郷市はここが高いということは、要支援・要介護認定を受けている方が年齢の割に多めということを表しています。年齢が高ければ、やはり認定率は高くなりますが、年齢構成の違いを調整して、年齢は高いけれども、それほどではないということであれば調整済みは低くなりますし、逆に若いところでも認定者の数が(比較的)多ければ調整済みは高くなります。

佐久間委員 この数値を定期的に追いかける上では、この数字は下がる方が理想的ということですね。

事務局 そうですね。(認定率そのものより) 調整済みのほうが現実として、見ていかなくてもならない数値だと思っております。

谷口会長 他にご意見はございますか。

ないようであればこの件は以上といたします。他に事務局でありますでしょうか。

事務局 (【当日資料】介護の入門的研修&お仕事相談会の実施状況に基づき報告)

谷口会長 何かご質問等はございますか。

齋藤委員 入門的研修&お仕事相談会は、毎年行う予定でしょうか。

事務局 令和 7 年度につきましても、予算化しておりまして、今回の研修の反省点を踏まえて、ブラッシュアップさせて実施していく予定です。

谷口会長 他にございますか。

佐久間委員 一人就労が決まったということですが、具体的にはどのような形で市内の就労に繋がりましたか。

事務局 これは地域密着デイサービスの事業者ですが、おそらく終わった後のお仕事相談会でのマッチングがうまくいき、就労にというお話になったと認識をしております。

秋葉委員 お仕事相談会が開かれて、そこで実際、会社と働きたい希望者がマッチングしたということですね。

事務局 そのとおりです。

谷口会長 他にご意見、ご質問はございますか。

(意見・質問なし)

谷口会長 以上をもちまして、本日の議事は、すべて終了いたしました。

5 事務連絡

事務局 (今後の介護保険運営協議会開催予定について連絡)

6 閉会

・ 今澤副会長より閉会のあいさつ